

南 薫 西 遺 跡

—第8次発掘調査報告—



平成 27 (2015) 年 9 月
久留米市教育委員会

序

久留米市は筑紫平野の中心に位置し、耳納山地の緑、筑後川の水など豊かな自然に恵まれています。この環境のもと、先人達は多くの文化を創造し、貴重な文化遺産を数多く残してきました。

本書で報告する南蕨西遺跡は、奈良時代から平安時代の集落を中心とした遺跡です。今回の調査では、大型建物跡の発見や、多くの墨書土器の出土など重要な成果が得られました。本調査の結果が、久留米の歴史の解明やその普及、及び、郷土への関心に多少なりとも貢献できれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査に際しまして、多大なご理解のもとにご協力をいただきました、有限会社グリーンセンターあさくら様や関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

平成 27 年 9 月 30 日

久留米市教育委員会
教育長 堤 正則

例言

1. 本書は、共同住宅建設に先立ち有限会社グリーンセンターあさくらの委託を受けて実施した、南蕨西遺跡第 8 次調査の発掘調査報告書である。
2. 調査は久留米市教育委員会が調査主体となり、市民文化部文化財保護課の小川原励が担当した。
3. 本書に掲載した遺構実測図の作成は、神保公久・小川原・石橋英二・鐘江清・山口誠也が行った。また、遺物実測図の作成と図面の浄書は、小川原と専任非常勤職員の古賀和子・丸山裕見子・米澤美詠子が行った。
4. 本書に掲載した遺物・遺構写真は、マミヤ RZ67、デジタルカメラを用いて小川原が撮影した。
5. 遺構実測図は国土調査法第 II 座標系（世界測地系）を基に作成し、図面の方位は全て座標北を示す。
6. 本書に使用した遺構の略記号は、SB－掘立柱建物、SD－溝、SK－土坑、SP－ピットを示す。
7. 本調査に関わる出土遺物・記録類は、全て久留米市埋蔵文化財センターにおいて収蔵・保管されている。
8. 本調査の略記号は NKN-008、調査番号は 201410 である。
9. 赤色顔料について、志賀智史氏（九州国立博物館）にご指導・助言を頂いた。
10. 本書の執筆は小川原・米澤が行い、編集は小川原が行った。

本文目次

I. はじめに	1
II. 位置と環境	2
III. 調査の記録	4
IV. 総括	24

I. はじめに

1. 調査に至る経過

本調査は、共同住宅建設に伴う事前の発掘調査である。平成26年7月1日、当時の土地所有者から、久留米市南蕨西町1938-1における「埋蔵文化財包蔵の有無」の照会が提出された。当該地一帯は、周知の埋蔵文化財包蔵地である南蕨西遺跡にあたり、平成26年7月8日に確認調査を行った。その結果、対象地において遺物や遺構が確認されたため、建物建設部分について発掘調査が必要である旨を回答した。協議の結果、調査費用を原因者負担として発掘調査を行う運びとなった。平成26年9月2日に有限会社クリーンセンターあさくら（代表取締役社長 原 伸二氏）から「発掘調査の依頼」が提出されたのを受け、文化財保護法に関する諸手続きを済ませた後、平成26年9月11日に同社と久留米市長橋原則は「南蕨西遺跡第8次調査埋蔵文化財発掘調査委託契約書」を取り交わした。平成26年9月18日に現地調査を開始した。調査地南端部は掘削の影響を受けて、遺構の残存状況が悪かったため、現地調査は予定より早く平成26年10月31日に終了した。報告書作成の委託契約期間は平成27年5月1日から9月30日である。

2. 調査の体制

（平成26年度）

調査委託：有限会社クリーンセンターあさくら（代表取締役社長 原 伸二）

調査主体：久留米市教育委員会 教 育 長 堤 正則

調査総括：市民文化部 部 長 野田 秀樹

次 長 竹村 政高

文化財保護課 課 長 園井 正隆

課長補佐 宮崎 俊一

課長補佐兼主査 白木 守

事務主査 塚本 映子

庶務担当 豊福 早苗

調査担当 小川原 励

整理担当 米澤美詠子

発掘調査臨時職員

青木 佐智子・荒巻 隆徳・石橋 英二・石橋 康子・鏑江 清・溝上 国男・御手洗 久直

山口 誠也・山下 洋子（50音順）

発掘調査整理臨時職員

石橋 洋子・野口 夏希

(平成 27 年度)

調査主体：久留米市教育委員会

調査総括：市民文化部

文化財保護課

教 育 長 堤 正則

部 長 野田 秀樹

次 長 竹村 政高

課 長 園井 正隆

課長補佐兼主査 白木 守

課長補佐 山崎万里子

課 主 査 水原 道範

事務主査 豊福 早苗 塚本 映子

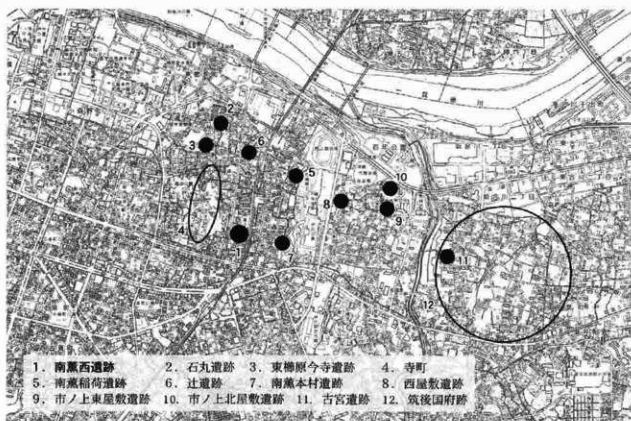
調査担当 小川原 励

整理担当 古賀 和子 丸山裕見子 米澤美詠子

II. 位置と環境

南薫西遺跡は、久留米市街地の北側に位置し、南から北の筑後川へ向かって延びる低台地の中央部に立地する。標高は約 14m を測り、西側の谷地から若干小高くなっている。

筑後川左岸の低段丘上には弥生時代の遺跡を中心に、多くの遺跡が展開しており、調査地周辺でも弥生時代の遺跡が集中している。本遺跡の北側に位置する東櫛原今寺遺跡は前期末～後期にかけての集落遺跡である。石丸遺跡は前期末～中期中頃に営まれた甕棺墓群が発見され、148 基の甕棺



第1図 南薫西遺跡周辺の主要遺跡等分布図 (1/25,000)

が検出されている。辻遺跡は前期～後期に及び、集落や甕棺墓が展開する。

北東側に位置する南薫稲荷遺跡からは前期後半の支石墓が検出されている。市ノ上北屋敷遺跡からは中期以前の環状土坑列が検出され、板付Ⅱ式段階の甕棺墓が検出されている。古宮遺跡からは終末期から古墳時代初頃にかけての堅穴建物が密集した状態で検出されている。

古墳時代には西屋敷遺跡や東櫛原今寺遺跡で堅穴建物が確認されているものの、大規模な遺跡は確認されていない。

歴史時代に入ると、東側約1.5kmの台地上に7世紀後半に筑後国府跡「前身官衙」が設置されたのち、筑後国府が設置される。7世紀末から8世紀中ごろにかけて南北約180mの築地塀で区画されたⅠ期政庁が営まれる。8世紀中頃、Ⅰ期政庁から約200mの位置にⅡ期政庁が営まれる。9世紀前半に瓦葺となり、10世紀中頃まで存続する。

本遺跡では第6次調査で飛鳥時代から平安時代の土坑、堅穴建物、掘立柱建物が検出されている。また墨書土器・刻書土器が22点ピットや土坑から出土している。律令期の「節原郷」との関連を示唆する「大領」・「領」や「芋原」などの記述が確認された。

中世には石丸遺跡で大型銭（崇寧重寶）や大量の輸入陶磁器が出土し、辻遺跡では大規模な区画溝が検出されている。

近世には、本遺跡の西側に寺町、南側に久留米城下町が整備されるが、調査地はその北側に広がる節原村に含まれる。



第2図 周辺地点の位置と周辺地形図 (1/2,500)

Ⅲ. 調査の記録

1. 調査の目的と経過

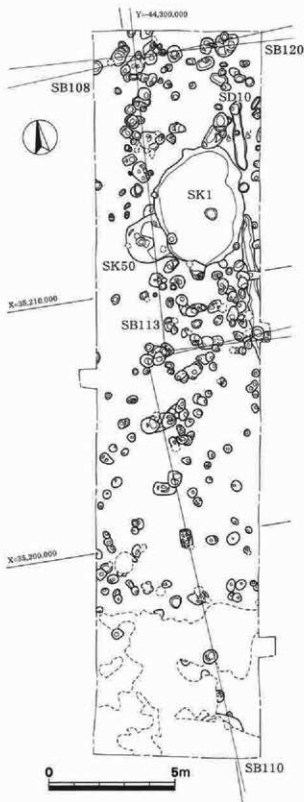
調査地は、南薫西遺跡第6次調査地の南約100m、第7次調査地の南東約50mに位置する。第6・7次調査の結果、本調査地周辺が7世紀～8世紀を中心とした節原郷における集落の中心であることが推定されている。そのため、今回の調査は集落の状況とその性格を探ることを目的とした。

調査は、平成26年9月18日に重機を搬入し、表土剥ぎを開始した。その後、作業員により遺構検出を開始し、併行して平板測量による略図作成を実施した。測量終了後、遺構の掘り下げを行い、個別実測図の作成や写真撮影を実施した。10月24日に全景写真を撮影した。その後、図面作成と併行し、埋め戻しを行い、最終的に調査が終了したのは10月31日である。

個別遺構・土層実測図(S=1/10)は手測りで作成したが、それ以外の遺構実測は、トータルステーションを用いて行い、その記録は株式会社CUBIC製ソフト「遺構くん Cubic」で編集・保管している。遺構の記録写真は、全景写真をカラーリバーサル・モノクロームともに(有)空中写真企画が6×6判で撮影し、その他を小川原がカラーリバーサル・モノクローム6×7判で撮影した。一部遺構はデジタルカメラで撮影した写真を掲載している。

2. 検出遺構

対象地は、宅地と畑地として利用されていた。表土下0.7m程度で遺構検出面に達する。遺構検出面は北側が高く南側へ向かい緩やかに低くなる。地山面は褐色粘質土で第6次調査と同様に水はけが良く、掘りやすい土質であった。調査区南部は近代から現代にかけてのごみ穴などにより、遺構の残存状況は悪かった。一部、必要に応じて調査区を拡張している。



第3図 南薫西遺跡第8次調査遺構配置図(1/150)



第4図 調査区全景（西上空から）

調査区からは掘立柱建物4棟、溝1条、土坑2基、ピット等を検出した。以下、主要遺構について説明を加える。

掘立柱建物

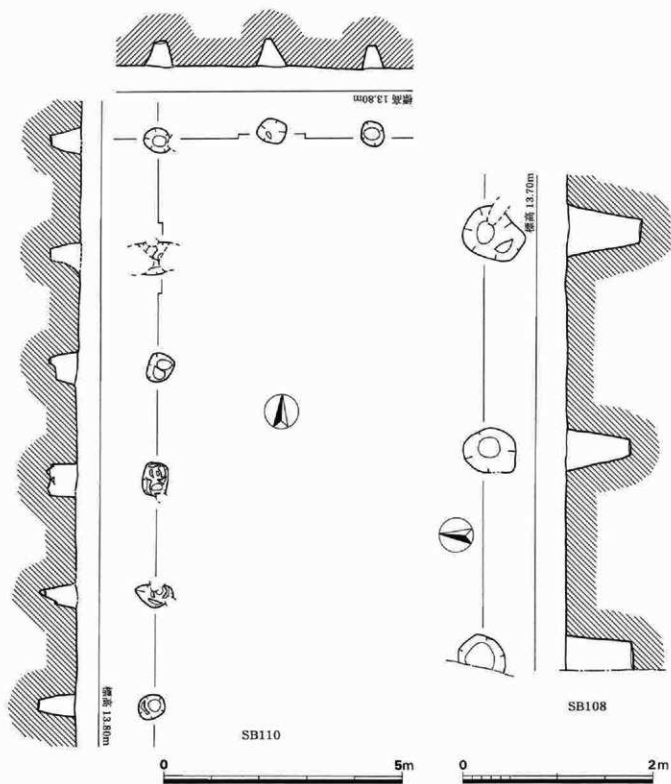
SB108（第5図）

調査区北部で検出した。南柱列の一系列のみの確認であるが、計画方位が後述するSB110と等しく、掘方の形状も似ていることから櫓ではなく掘立柱建物とした。建物は北側もしくは東西方向に広がると考えられる。柱間は2.3m等間である。柱穴は直径0.4～0.6mの円形または隅丸方形を呈す。深さは0.7～0.8mを測る。掘方の埋土からは、土師器の坏、甕、須恵器の蓋細片などが出土している。建物の主軸はN-4°-Wである。

SB110（第5図）

調査区南部で検出した。SB113に後出する。建物の南東部分は調査区の東側へ広がるため全容は不明であるが南北棟の建物と考えられる。調査区南西部を一部拡張したが柱穴は確認できなかったため、建物はさらに南側へ広がると考えられる。桁行6間（12.1m）以上、梁行2間（4.5m）以上で、柱間寸法は、桁行は西側柱列で、南から2.5m+2.4m+2.4m+2.4m+2.4m、梁行は北側柱列で西から2.3m+2.2mを測る。柱穴は直径0.5～0.6mを測る。掘方の埋土から土師器の坏、甕、瓦片、砥石などが出土している。建物の計画方位はN-4°-Wである。

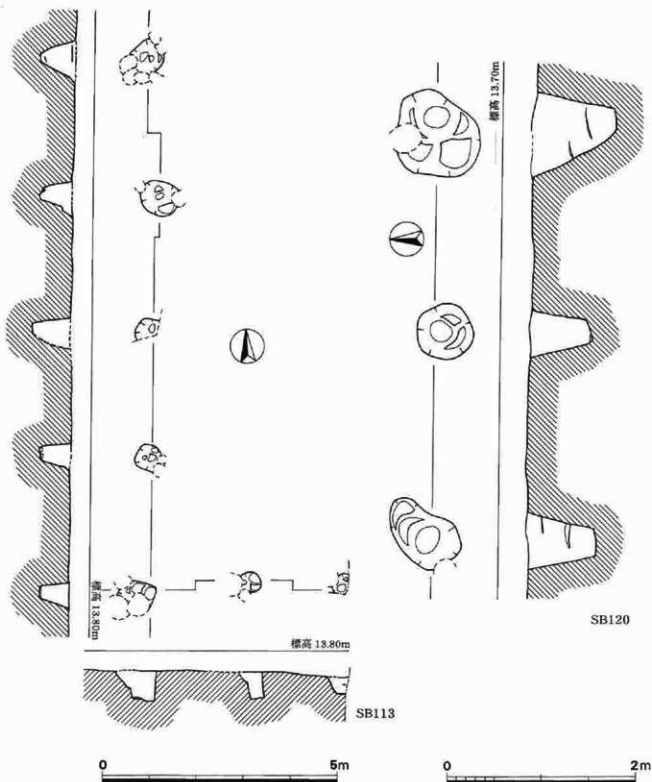
Ⅲ. 調査の記録



第5図 SB108・SB110 実測図 (1/80)

SB113 (第6図)

調査区北部で検出した。建物の北東部分は調査区の東側へ広がるため全容は不明であるが南北棟



第6図 SB113・SB120 実測図 (1/40, 1/80)

の建物と考えられる。桁行6間（17.1m）以上、梁行2間（4.6m）以上で、柱間寸法は、桁行は2.85m等間、梁行は2.3m等間である。柱穴は直径0.4～0.75mを測る。掘方の埋土から土師器の坏、

甕、黒色土器A類細片などが出土している。建物の計画方位は $N-7^{\circ}-E$ である。

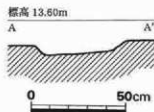
SB120 (第6図)

調査区北部で検出した。SB108と同様、南柱列1列のみ確認できたが、掘立柱建物とした。建物は東西もしくは北側に広がると考えられる。柱間は2.3m等間である。柱穴の直径は0.5~1.0mを測る。掘方の埋土から土師器の坏、甕、瓦片などが出土している。

溝

SD10 (第7図・第8図)

調査区北西部で検出した。SB110、SB113に後出する。北調査区北端から6.0m付近で浅くなり、いったん途切れるが、1.8m先で再び検出されたあと、5.5m程南東へ延び調査区外に広がっている。上端幅約0.5m、深さ約0.05mを測る。断面は逆台形を呈す。溝の走行方向はSB113の南北方向の方位と概ね同じである。



第7図 SD10断面図(1/20)



第8図 SD10完掘状況(北から)



第9図 SK1遺物出土状況(北東から)

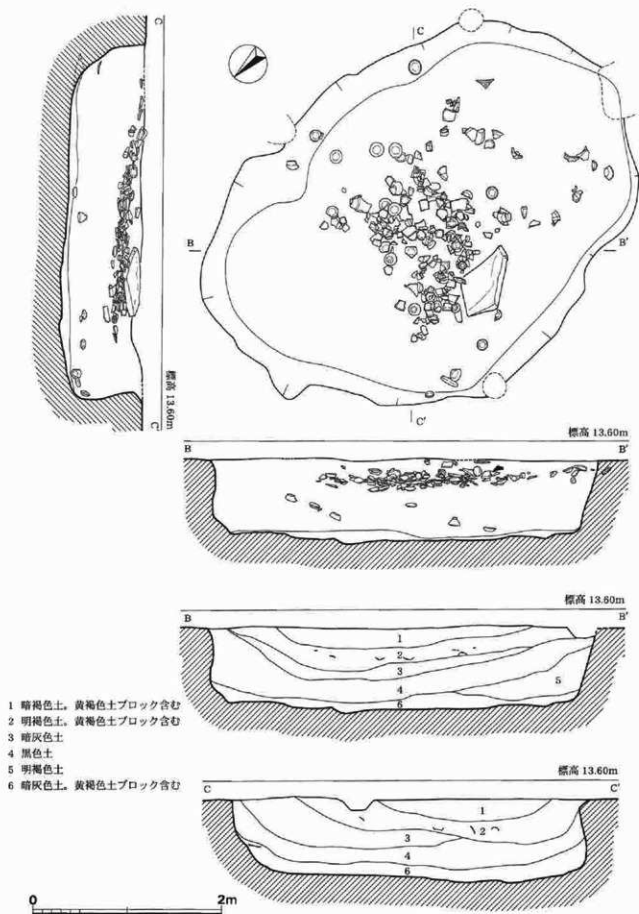
土坑

SK1 (第9図・第10図)

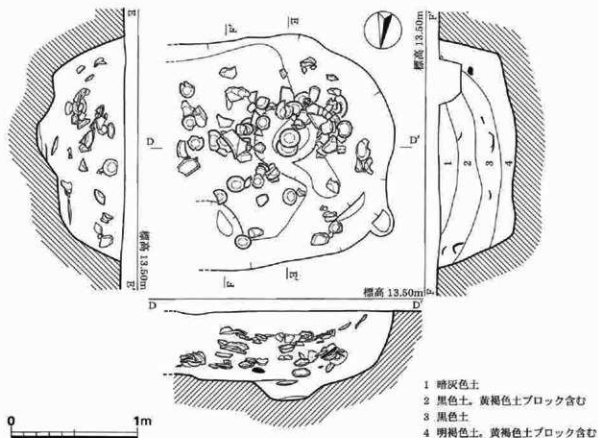
調査区北部で検出した。平面形は長軸約4.8m、短軸約3.5mの楕円形を呈す。深さ約0.9mを測る。SK50、SB113に後出する。多量の遺物が出土している。遺物は埋土上部と底部に集中する。底面はほぼ平坦で、壁面は一部オーバーハングする部分もある。土師器の坏・皿・埴・甕、須恵器の坏・蓋・壺、黒色土器A・B類、緑釉陶器、瓦、輸入陶磁器、鉄器、鉄滓、金床石、砥石、羽口片などが出土している。土師器の坏・皿・埴には油煙が付着したものが目立つ。また、土師器を利用した墨書土器が多量に出土している。

SK50 (第11図・第12図)

調査区北西部で検出した。SB113に後出する。SK1に切られているがほぼ円形を呈す。直径約1.8m、深さ約0.7mを測る。中央底部がわずかにくぼみ、北西に2段、段差を有する。土師器の坏・皿・埴・甕、須恵器の坏・蓋、黒色土器A類、緑釉陶器、輸入陶磁器などが出土している。



第10図 SK 1 実測図 (1/40)



第11図 SK50 実測図 (1/30)

3. 出土遺物

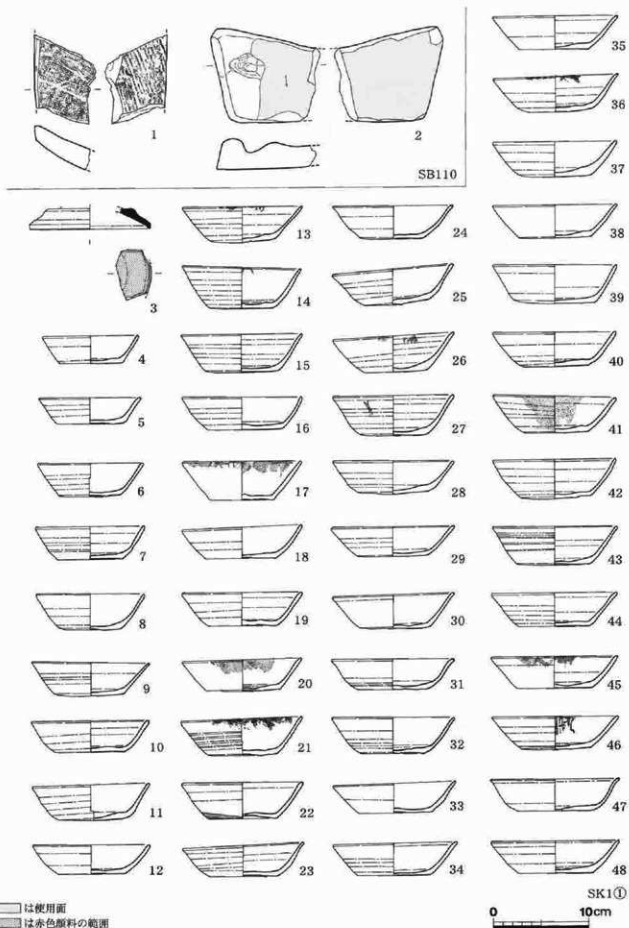
第8次調査では、調査地南部が攪乱によって遺構の残存状況が悪かったにも関わらず、多くの遺物が出土した。特にSK1、SK50から総量の4分の3以上出土している。総量はパンコンテナー18箱である。

多くの出土遺物の中で、本調査で特に注目されるものは、墨書土器である。本報告には判別が易しい資料のみを掲載しているが、116点の墨書を有する土器が出土しており、市内において有数の出土量である。ここでは個々の遺物に

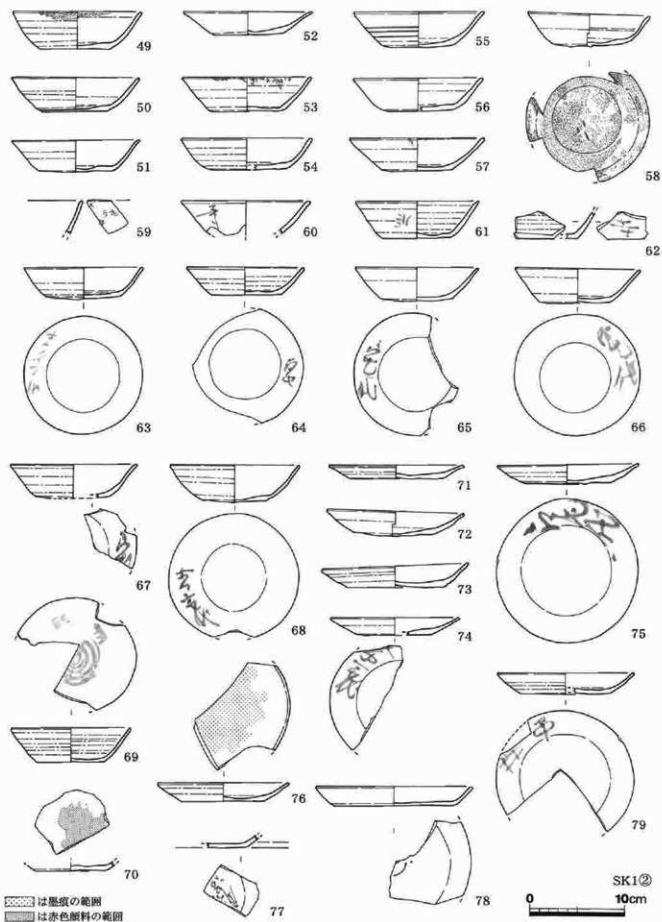


第12図 SK50 遺物出土状況 (西から)

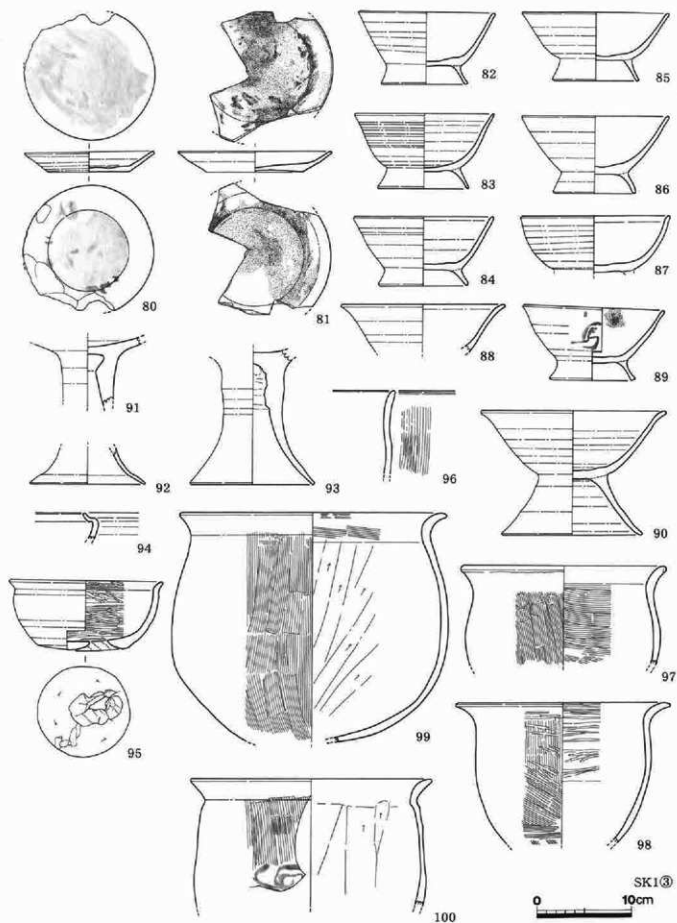
について説明は加えないため、詳細は第1～4表の出土遺物観察表を参照されたい。



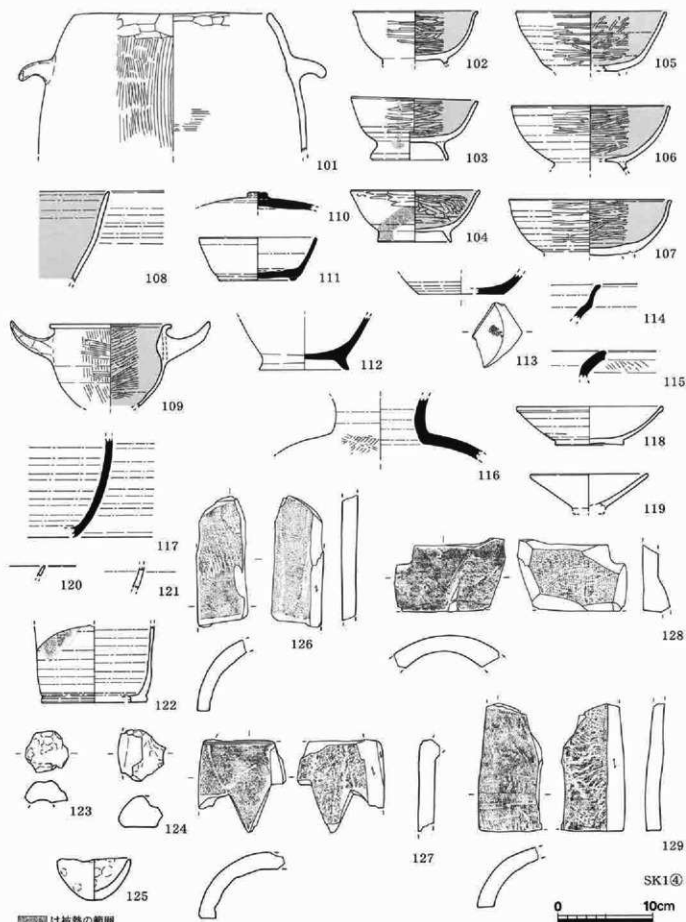
第13図 出土遺物実測図① (1/4)



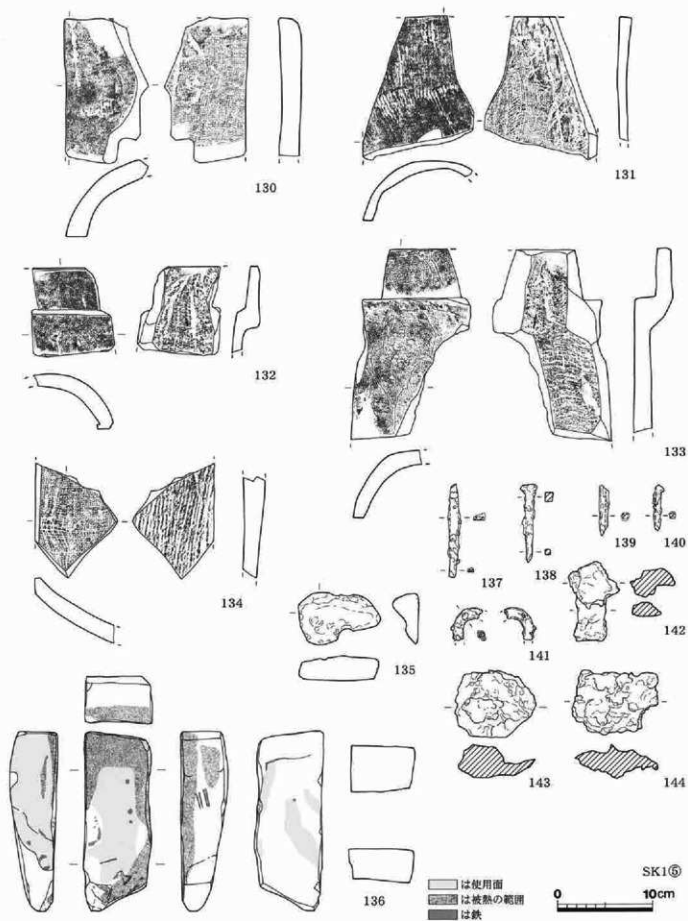
第14図 出土遺物実測図② (1/4)



第15図 出土遺物実測図③ (1/4)

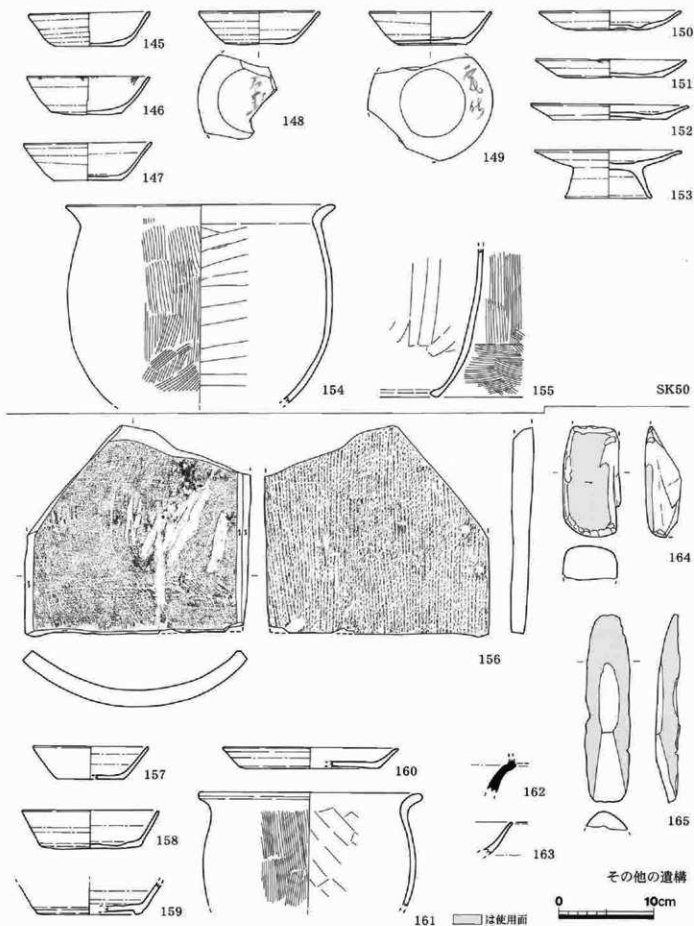


第16図 出土遺物実測図④ (1/4)



第17図 出土遺物実測図⑤ (1/4)

Ⅲ. 調査の記録



第18図 出土遺物実測図⑥ (1/4)

III. 調査の記録

第2表 出土遺物觀察表②

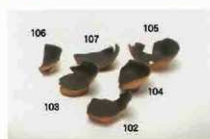
[illegible]

第3表 出土遺物觀察表③

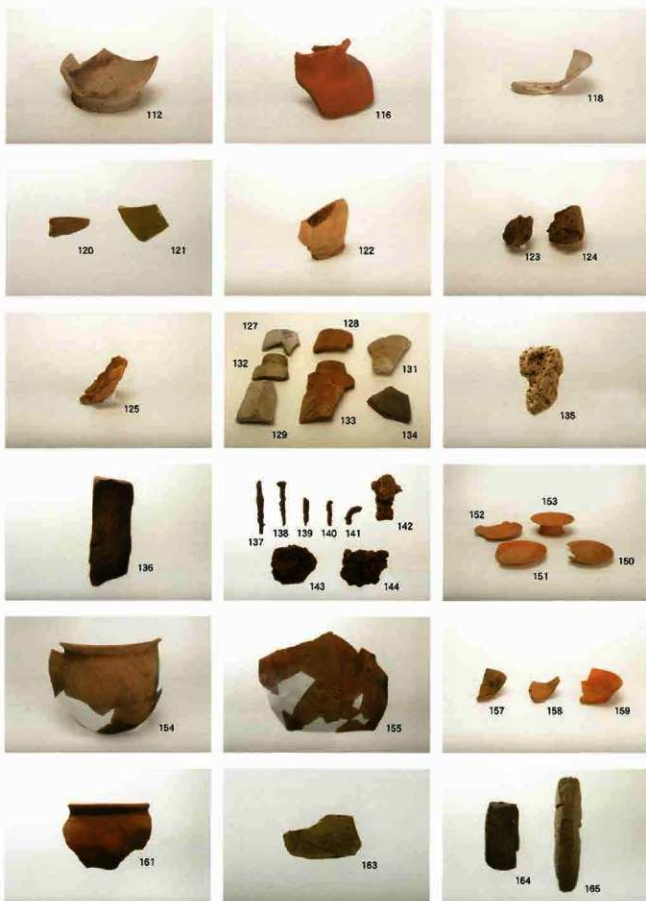
通称No.	山名漢字	種別	国府	口積 (坪)	法定 収得地積	原高積	位置	外周	内周	測量	組土	備考	通称No. 番号
85 第15区	SK1	土留堀	堀	(18.4)	(2.2)	(7.2)	にのみ・溝堀	にのみ・溝堀	にのみ・溝堀	にのみ・溝堀	溝堀を含む		28140 00004
86 第15区	SK1	土留堀	堀	(18.5)	8.8	0.0	にのみ・溝堀	にのみ・溝堀	にのみ・溝堀	にのみ・溝堀	赤色粘土、溝堀を含む		28140 00051
87 第15区	SK1	黒色土留 A堀	堀	(16.0)	—	(6.0)	堀	東端 にのみ・溝堀	にのみ・溝堀	にのみ・溝堀	溝堀に粘土・石等・ 溝堀を含む		28140 00044
88 第15区	SK1	土留堀	堀	(17.4)	—	(5.1)	堀	堀	堀	掘堀ナダ	赤色粘土、溝堀を含む		28140 00034
89 第15区	SK1	土留堀	堀	(14.4 + 14.9)	8.8 + 9.0	7.4 + 8.1	堀 にのみ・溝堀	掘	掘	掘堀ナダ	赤色粘土、溝堀・ 溝堀を含む	外周に溝堀 内周に溝堀を含む	28140 00027
90 第15区	SK1	土留堀	溝堀を含む	(19.6)	(15.0)	(13.2)	掘	掘	掘	掘堀ナダ	赤色粘土、溝堀を含む		28140 00013
91 第15区	SK1	土留堀	溝掘	—	—	(7.0)	にのみ・溝堀 →反復堀	掘堀ナダ	掘堀ナダ	掘堀ナダ	溝堀を含む		28140 00028
92 第15区	SK1	土留堀	溝掘	—	(10.0)	(14.0)	溝堀掘堀	にのみ・溝堀	掘堀ナダ	掘堀ナダ	溝堀を含む	外周に溝堀 内周に溝堀を含む	28140 00005
93 第15区	SK1	土留堀	溝掘	—	(13.0)	(14.2)	掘	掘	掘	掘堀ナダ	溝堀を含む		28140 00090
94 第15区	SK1	土留堀	掘堀	—	—	(2.0)	掘	掘	掘	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00019
95 第15区	SK1	土留堀	掘	(15.8 + 16.2)	9.6 + 9.6	6.1	東端 にのみ・溝堀 反復堀	にのみ・溝堀 反復堀	にのみ・溝堀 反復堀	掘堀ナダ	赤色粘土、溝堀・ 溝堀を含む 掘堀を含む	外周に溝堀 内周に溝堀を含む	28140 00080
96 第15区	SK1	土留堀	溝	—	—	(6.0)	にのみ・溝	掘堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00020
97 第15区	SK1	土留堀	溝	(12.4)	—	(10.0)	掘堀	掘堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む	外周に溝堀を含む	28140 00002
98 第15区	SK1	土留堀	溝	(22.4)	—	(15.0)	にのみ・溝堀	掘堀・ 掘堀・掘堀・掘堀	掘堀・ 掘堀・掘堀・掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00086
99 第15区	SK1	土留堀	溝	(26.2)	—	(24.2)	にのみ・溝堀	にのみ・溝堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00056
100 第15区	SK1	土留堀	掘	(25.4)	—	(15.0)	掘・ 掘堀	にのみ・溝	掘堀	掘堀ナダ	赤色粘土、掘堀を含む	外周に溝堀 内周に溝堀を含む	28140 00026
101 第15区	SK1	土留堀	掘堀を含む	(20.2)	—	(14.0)	掘	掘	掘	掘堀ナダ	掘堀を含む	内周に掘堀を含む	28140 00095
102 第15区	SK1	黒色土留 A堀	掘	(12.0)	—	(5.0)	掘	にのみ 掘堀	にのみ 掘堀	掘堀ナダ	赤色粘土、溝堀・ 掘堀を含む		28140 00009
103 第15区	SK1	黒色土留 A堀	掘	(13.4)	7.5	6.3 + 6.8	にのみ・溝	掘堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む	外周に溝堀	28140 00049
104 第15区	SK1	黒色土留 A堀	掘	(13.4)	(7.4)	5.0	掘	掘	掘	掘堀ナダ	赤色粘土、溝堀を含む	外周掘堀	28140 00058
105 第15区	SK1	黒色土留 A堀	掘	(5.8)	—	(4.0)	にのみ・溝堀	掘	掘	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00030
106 第15区	SK1	黒色土留 A堀	掘	(16.8)	—	(6.0)	掘	掘	掘	掘堀ナダ	赤色粘土、溝堀を含む		28140 00029
107 第15区	SK1	黒色土留 A堀	掘	(17.0)	—	(6.0)	にのみ・溝堀	掘	掘	掘堀ナダ	赤色粘土、溝堀を含む		28140 00089
108 第15区	SK1	黒色土留 A堀	掘	—	—	(8.1)	掘・溝	掘・溝	掘・溝	掘堀ナダ	赤色粘土、溝堀を含む		28140 00081
109 第15区	SK1	黒色土留 A堀	掘堀を含む	(12.0)	—	(8.0)	にのみ・溝堀	掘	掘	掘堀ナダ	掘堀を含む	外周に溝堀を含む	28140 00029
110 第15区	SK1	掘堀	溝	—	—	(1.0)	掘堀	掘堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00034
111 第15区	SK1	掘堀	掘堀を含む	(12.4)	8.4	6.4	掘堀	掘堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00019
112 第15区	SK1	掘堀	掘堀を含む	—	9.2	(5.7)	掘堀	掘堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00031
113 第15区	SK1	掘堀	掘	—	(3.4)	(2.0)	掘	掘	掘	掘堀ナダ	掘堀を含む	外周掘堀に溝堀・ 掘堀を含む	28140 00084
114 第15区	SK1	掘堀	掘	—	(2.7)	掘	掘	掘	掘	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00081
115 第15区	SK1	掘堀	掘	—	(2.0)	掘	掘	掘	掘	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00036
116 第15区	SK1	掘堀	掘	—	(6.0)	掘	掘	掘	掘	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00022
117 第15区	SK1	掘堀	掘	—	(18.0)	掘	掘	掘	掘	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00025
118 第15区	SK1	掘堀	掘	(18.4)	7.2	(4.3)	掘堀	掘堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む	1-1掘 堀の掘堀を含む	28140 00040
119 第15区	SK1	掘堀	掘	(12.2)	—	(4.0)	掘堀・掘堀	掘堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00003
120 第15区	SK1	掘堀	掘	—	(2.9)	掘堀	掘堀	掘堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00023
121 第15区	SK1	掘堀	掘	—	(2.0)	掘堀	掘堀	掘堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00005
122 第15区	SK1	掘堀	掘	(18.0)	(8.2)	掘堀	掘堀	掘堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00036
123 第15区	SK1	掘堀	掘	4.4	4.5	2.9	掘	掘	掘	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00021
124 第15区	SK1	掘堀	掘	5.6	5.0	3.4	掘堀	掘堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00009
125 第15区	SK1	掘堀	掘	(7.2)	(3.2)	4.5	掘	掘	掘	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00002
126 第15区	SK1	掘	掘	13.2	8.9	1.5	掘堀	掘堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00002
127 第15区	SK1	掘	掘	13.2	8.9	1.5	掘堀	掘堀	掘堀	掘堀ナダ	掘堀を含む		28140 00002

第4表 出土遺物観察表④

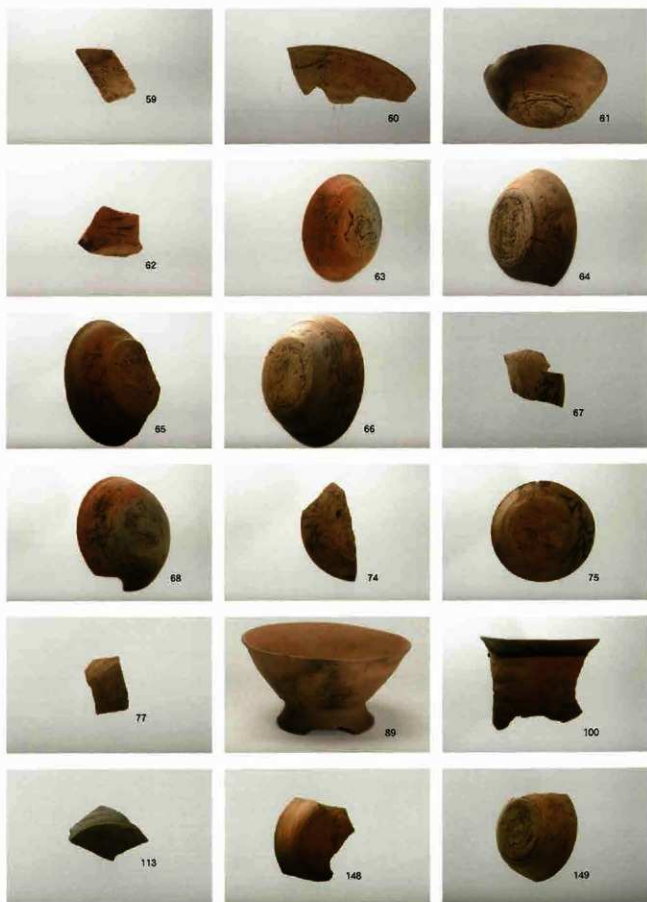
遺物No	出土遺物	種別	図形	位置			色調		調整		出土	備考	遺物登録番号
				口徑 (M)	底径 (M)	高さ (M)	外面	内面	外面	内面			
127 第15区	SK1	瓦	丸瓦	9.7	8.2	1.8	灰白 灰	灰白 灰	ナツ	赤目	横溝		30410 00006
128 第15区	SK1	瓦	丸瓦	7.6	11.7	2.3	にんべん 焼	にんべん 焼	タタキ ナツ	赤目	横溝含む		30410 00012
129 第15区	SK1	瓦	丸瓦	13.5	6.7	1.6	灰白	灰	タタキ ナツ	赤目	1310横溝		30410 00008
130 第17区	SK1	瓦	丸瓦	15.3	8.9	2.2	にんべん 焼	にんべん 焼	タタキ ナツ	赤目	少量の横溝含む		30410 00044
131 第17区	SK1	瓦	丸瓦	15.1	12.9	1.4	灰黄 灰白	灰白	タタキ ナツ	赤目	1310横溝		30410 00017
132 第17区	SK1	瓦	丸瓦	18.4	15.8	0.8	灰白	灰	ナツ	赤目	横溝・内面・ 右側含む		30410 00007
133 第17区	SK1	瓦	丸瓦	15.1	12.4	7.5	にんべん 焼	にんべん 焼	タタキ ナツ	赤目	少量の横溝含む		30410 00070
134 第17区	SK1	瓦	平瓦	12.2	8.7	2.3	灰	灰	赤目	タタキ	横溝		30410 00023
135 第17区	SK1	石製品	磨石	8.8	5.6	2.6	灰黄						30410 00018
136 第17区	SK1	石製品	金環石	18.9	7.2	5.0	赤褐色					砂眼	30410 00007
137 第17区	SK1	鉄製品	刀子	10.0	1.3	0.7	黒						30410 00053
138 第17区	SK1	鉄製品	針	8.3	1.8	1.0	黒褐色						30410 00027
139 第17区	SK1	鉄製品	針	5.4	1.1	0.9	黒褐色						30410 00058
140 第17区	SK1	鉄製品	針	4.8	1.2	0.7	黒褐色						30410 00038
141 第17区	SK1	鉄製品	不明	13.8	12.9	6.0	緑褐色						30410 00048
142 第17区	SK1	鉄製品	不明	8.5	8.5	3.0	にんべん 焼						30410 00005
143 第17区	SK1	鉄製品	短刀	8.5	7.2	3.5	緑褐色						30410 00020
144 第17区	SK1	鉄製品	短刀	9.1	6.9	3.6	灰黄						30410 00028
145 第18区	SK50	土師器	2F	12.6~ 13.0	7.8~ 7.8	2.9	焼	焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	赤色粘土、横溝・内面・ 長手・右側含む	外面に黒点	30410 00071
146 第18区	SK50	土師器	2F	12.7~ 13.0	7.4~ 7.7	3.7~ 4.1	にんべん 焼	にんべん 焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	赤色粘土、横溝・内面・ 長手・右側含む	内面に黒点付着	30410 00072
147 第18区	SK50	土師器	2F	13.0	7.0	4.0~ 4.2	にんべん 焼	焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	横溝を含む	横溝・内面・ 長手	30410 00067
148 第18区	SK50	土師器	2F	12.8	15.9	1.3	にんべん 焼	にんべん 焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	赤色粘土、横溝・ 内面・右側含む	外面に黒点	30410 00086
149 第18区	SK50	土師器	2F	13.0	8.8	3.5	にんべん 焼	にんべん 焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	赤色粘土、横溝を含む	外面に黒点	30410 00086
150 第18区	SK50	土師器	2F	14.6~ 15.0	9.8~ 10.6	1.8~ 2.3	にんべん 焼	にんべん 焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	横溝・内面・ 長手・右側含む	横溝・内面・ 長手・右側含む	30410 00079
151 第18区	SK50	土師器	2F	15.7~ 16.9	11.0~ 11.2	1.6~ 2.1	焼	焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	赤色粘土、横溝・内面・ 長手・右側含む	横溝・内面・ 長手・右側含む	30410 00069
152 第18区	SK50	土師器	2F	16.6	12.2	1.8~ 1.7	にんべん 焼	にんべん 焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	赤色粘土、横溝を含む		30410 00066
153 第18区	SK50	土師器	2F	15.6	8.9	5.1	にんべん 焼	焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	赤色粘土、横溝を含む		30410 00068
154 第18区	SK50	土師器	2F	18.4	—	12.1	にんべん 焼	にんべん 焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	横溝を含む	外面に黒点付着	30410 00054
155 第18区	SK50	土師器	2F	—	15.8	—	にんべん 焼	にんべん 焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	赤色粘土、横溝・ 内面・右側含む		30410 00060
156 第18区	S P120	瓦	平瓦	22.0	23.7	2.1	灰黄	灰黄	赤目	横溝			30410 00001
157 第18区	S P103	土師器	2F	12.2	16.8	1.5	にんべん 焼	にんべん 焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	横溝を含む		30410 00010
158 第18区	S P41	土師器	2F	13.4	11.0	1.4	焼	焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	横溝を含む		30410 00004
159 第18区	S P19	土師器	2F	—	11.0	15.8	灰黄	焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ			30410 00001
160 第18区	S P43	土師器	2F	18.4	14.8	12.5	焼	焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	赤色粘土、横溝を含む		30410 00005
161 第18区	S P40	土師器	2F	23.6	—	12.2	焼	焼	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	赤色粘土、横溝・ 内面・右側含む	内面に黒点付着	30410 00003
162 第18区	SK20	鉄製品	針	—	—	2.7	灰	灰	黒點ナツ ヘツ切り	黒點ナツ ナツ	横溝を含む		30410 00002
163 第18区	S P103	土師器	2F	—	—	13.0	灰黄	灰黄	赤目	横溝	横溝		30410 00011
164 第18区	S P43	石製品	磨石	11.9	11.9	3.6	灰黄						30410 00006
165 第18区	S P41	石製品	磨石	20.0	4.7	1.9	灰黄						30410 00007



第19図 出土遺物写真①



第20圖 出土遺物写真②



第 21 図 出土遺物写真③

IV. 総括

1. 遺構について

本調査では掘立柱建物4棟、溝1条、土坑2基など、多くの遺構が検出された。最も古く位置付けられる遺構は、重複関係からSB113、SB120、SD10が考えられる。SD10は溝の浅さや直線的に走行しているため、雨落ち溝の可能性はある。SB113とSD10は方向軸がほぼ同じであるため、近い時期に機能していたことが想定される。またSB113に後出するSB108とSB110も計画方位が等しく、同様のことが想定される。SB108、SB113はともに桁行6間以上の建物で通常の集落ではあまりみられない規模を有する。しかし、一方で、柱穴の形状は円形、隅丸方形、楕円形と一定ではなく、直径は0.4～1.0mの範囲で統一されていない。また、柱筋が通らない部分もあり、柱間も等間でない箇所が多く一定しない。このような点は官衙遺跡と異なる。遺構の掘方が大きさや出土した遺物の特徴から、掘立柱建物は9世紀前半を遡ると考えられる。今回の調査では4棟のみ確認できたが、調査区北側では掘方の直径が大きく、深さのあるピットが多くみられたため、柱穴となるピットが存在する可能性がある。

SK1、SK50は、出土遺物から9世紀後半に属すると考えられる。出土遺物は、供膳具が大半を占めるが、甕や甔、移動式竈などの調理具もみられる。一方で、油煙が付着した土師器や墨書土器が多く、緑釉陶器や輸入陶磁器も出土していることから、官衙との関連が想起される。また、鉄滓や羽片などが生産に関わる資料もみられる。今回の調査ではSK1、SK50と同時期の建物跡が確認できなかったため、調査地周辺における今後の調査の進展が望まれる。

2. 墨書土器について

先述したとおり本調査では細片も含め、116点の墨書土器が出土した。その中でも「宅代」と記された土器が9点と特に多くみられる。破片の資料で「宅」、「代」と書かれている資料も複数みられることから、さらに多くなることが想定される。この書体は様々で、複数の人物が記した可能性や、文字を知らない人物が模写していくうちに書体に差が生じた可能性が考えられる。形が大きく崩れ、文字判別が難しい資料が多くみられることから、後者の可能性が高いと考えられる。「宅代」と記された墨書土器は、島根県浜田市古市遺跡や熊本県合志市から出土しているが、その読みや意味など詳細は不明である。63・68・78は「宅代」の前に文字が記載されている。63・68は同じ字が記されているようだが、判別できない。78は一部欠けているため断定はできないが、第6次調査で確認された「芋原」の芋のようにみえる。「芋原」は『(筑後国) 神名帳』内に記載されている「芋原神」のことと考えられている。多くの「宅代」が出土しているため、この文字の意味が判明すれば遺跡の性格を知る手掛かりとなる可能性がある。

文字を記した資料以外に、100の面墨書土器片や113の線刻土器もある。面墨書土器は右目部分のみが残存しており、他の箇所は確認できなかった。使用の際、故意に破砕した可能性が高い。113には植物の葉の絵が焼成前に描かれており、多くの葉脈が確認できるほど緻密に描かれている。

今回の調査では、多くの墨書土器や緑釉陶器、輸入陶磁器が出土し、官衙遺跡ほど統一された規

格を有しては、桁行6間以上の掘立柱建物で2棟検出されるなど、一般の集落ではみられない様相を呈す。節原郷の中でも中心となる施設である可能性が高い。また、遺構の密度から、第6次調査の南部から本調査地北部の範囲が、南薫西遺跡の中心となることが想定される。

第5表 墨書・刻書土器観察表

遺物NO.	種別	器種	部位	鮮明度	記述文字	遺構	登録番号	遺物NO.	種別	器種	部位	鮮明度	記述文字	遺構	登録番号
1	土師器	杯	杯片	鮮明	(金ナ文字か?)	SK1	201410000055	1	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000232
2	土師器	杯	底部	鮮明	せ	SK1	201410000086	2	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000233
3	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000175	3	土師器	杯	口縁部	やや不鮮明	顔のやう山?	SK1	201410000234
4	土師器	杯	口縁部	やや不鮮明	不明	SK1	201410000176	4	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000235
5	土師器	杯	口縁部	鮮明	口立?	SK1	201410000177	5	土師器	杯	口縁部	鮮明	大?死?	SK1	201410000236
6	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000178	6	土師器	杯	口縁部	やや不鮮明	不明	SK1	201410000237
7	土師器	杯	底部	鮮明	餅通	SK1	201410000179	7	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000238
8	土師器	杯	底部	鮮明	口代	SK1	201410000180	8	土師器	皿	皿片	鮮明	舟中?	SK1	201410000239
9	土師器	杯	底部	やや不鮮明	不明	SK1	201410000181	9	土師器	甕	甕口	鮮明	不明(給刀)	SK1	201410000240
10	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000182	10	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000241
11	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000183	11	土師器	杯	口縁部	鮮明	杯	SK1	201410000242
12	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000184	12	土師器	杯	口縁部	鮮明	杯	SK1	201410000243
13	土師器	杯	底部	鮮明	不明	SK1	201410000185	13	土師器	杯	口縁部	鮮明	杯	SK1	201410000244
14	土師器	杯	杯片	鮮明	宅	SK1	201410000186	14	土師器	杯	口縁部	鮮明	杯	SK1	201410000245
15	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000187	15	土師器	杯	口縁部	鮮明	感?	SK1	201410000246
16	土師器	杯	底部	鮮明	不明	SK1	201410000188	16	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000247
17	土師器	皿	口縁部	鮮明	口代?	SK1	201410000189	17	土師器	杯	口縁部	不鮮明	不明	SK1	201410000248
18	土師器	皿	底部	鮮明	不明	SK1	201410000190	18	土師器	杯	底部	不鮮明	不明	SK1	201410000249
19	土師器	杯	口縁部	やや不鮮明	高(器) 号口大?	SK1	201410000191	19	土師器	杯	底部	やや不鮮明	不明	SK1	201410000250
20	土師器	杯	底部	鮮明	不明	SK1	201410000192	20	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000251
21	土師器	杯	底部	やや不鮮明	不明	SK1	201410000193	21	土師器	杯	底部	不鮮明	不明	SK1	201410000252
22	土師器	杯	底部	不鮮明	不明	SK1	201410000194	22	土師器	杯	底部	不鮮明	不明	SK1	201410000253
23	土師器	杯	底部	鮮明	不明	SK1	201410000195	23	土師器	杯	底部	不鮮明	不明	SK1	201410000254
24	土師器	杯	底部	鮮明	不明	SK1	201410000196	24	土師器	皿	口縁部	鮮明	平々宅代	SK1	201410000255
25	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000197	25	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000256
26	土師器	杯	口縁部	不鮮明	不明	SK1	201410000198	26	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000257
27	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000199	27	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000258
28	土師器	皿	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000200	28	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000259
29	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000201	29	土師器	杯	口縁部	やや不鮮明	不明	SK1	201410000260
30	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000202	30	土師器	杯	底部	やや不鮮明	井?	SK1	201410000261
31	土師器	杯	杯片	鮮明	不明	SK1	201410000203	31	土師器	杯	底部	やや不鮮明	口立口?	SK1	201410000262
32	土師器	杯	杯片	鮮明	不明	SK1	201410000204	32	土師器	杯	口縁部	鮮明	代?	SK1	201410000263
33	土師器	杯	底部	鮮明	夕冠	SK1	201410000205	33	土師器	杯	底部	やや不鮮明	不明	SK1	201410000264
34	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000206	34	土師器	杯	底部	やや不鮮明	不明	SK1	201410000265
35	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000207	35	土師器	甕	口縁部	やや不鮮明	人面(目)	SK1	201410000266
36	土師器	杯	杯片	やや不鮮明	不明	SK1	201410000208	36	土師器	杯	底部	鮮明	寺	SK1	201410000267
37	土師器	杯	杯片	鮮明	不明	SK1	201410000209	37	土師器	杯	口縁部	鮮明	宅?	SK1	201410000268
38	土師器	杯	杯片	鮮明	不明	SK1	201410000210	38	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000269
39	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000211	39	土師器	杯	口縁部	鮮明	代?	SK1	201410000270
40	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000212	40	土師器	杯	底部	やや不鮮明	不明	SK1	201410000271
41	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000213	41	土師器	杯	口縁部	鮮明	神	SK1	201410000272
42	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000214	42	土師器	杯	底部	やや不鮮明	給?	SK1	201410000273
43	土師器	皿	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000215	43	土師器	皿	皿片	不鮮明	十?	SK1	201410000274
44	土師器	杯	口縁部	不鮮明	不明	SK1	201410000216	44	土師器	杯	杯片	不鮮明	口(器方不明)	SK1	201410000275
45	土師器	杯	口縁部	やや不鮮明	口口口	SK1	201410000217	45	土師器	皿	底部	やや不鮮明	不明	SK1	201410000276
46	土師器	皿	底部	鮮明	不明	SK1	201410000218	46	土師器	皿	底部	やや不鮮明	馬	SK1	201410000277
47	土師器	皿	底部	鮮明	不明	SK1	201410000219	47	土師器	皿	底部	不鮮明	不明	SK1	201410000278
48	土師器	杯	杯片	鮮明	不明	SK1	201410000220	48	土師器	杯	底部	不鮮明	宅?宅代	SK1	201410000279
49	土師器	皿	口縁部	鮮明	宅代	SK1	201410000221	49	土師器	杯	杯片	やや不鮮明	不明	SK1	201410000280
50	土師器	杯	底部	やや不鮮明	不明	SK1	201410000222	50	土師器	杯	底部	やや不鮮明	宅代	SK1	201410000281
51	土師器	皿	杯片	鮮明	不明	SK1	201410000223	51	土師器	皿	皿片	鮮明	宅代	SK1	201410000282
52	土師器	杯	口縁部	やや不鮮明	夕	SK1	201410000224	52	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000283
53	土師器	杯	口縁部	鮮明	大?	SK1	201410000225	53	土師器	杯	杯片	やや不鮮明	宅代	SK1	201410000284
54	土師器	杯	口縁部	やや不鮮明	家?	SK1	201410000226	54	土師器	杯	底部	不鮮明	不明	SK1	201410000285
55	土師器	杯	口縁部	やや不鮮明	不明	SK1	201410000227	55	土師器	杯	底部	やや不鮮明	不明	SK1	201410000286
56	土師器	杯	杯片	やや不鮮明	不明	SK1	201410000228	56	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000287
57	土師器	杯	杯片	やや不鮮明	不明	SK1	201410000229	57	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000288
58	土師器	杯	杯片	やや不鮮明	不明	SK1	201410000230	58	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000289
59	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000231	59	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000290
60	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000232	60	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000291
61	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000233	61	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000292
62	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000234	62	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000293
63	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000235	63	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000294
64	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000236	64	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000295
65	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000237	65	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000296
66	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000238	66	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000297
67	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000239	67	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000298
68	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000240	68	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000299
69	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000241	69	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000300
70	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000242	70	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000301
71	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000243	71	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000302
72	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000244	72	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000303
73	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000245	73	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000304
74	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000246	74	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000305
75	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000247	75	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000306
76	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000248	76	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000307
77	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000249	77	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000308
78	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000250	78	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000309
79	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000251	79	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000310
80	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000252	80	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000311
81	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000253	81	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000312
82	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000254	82	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000313
83	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000255	83	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000314
84	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000256	84	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000315
85	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000257	85	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000316
86	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000258	86	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000317
87	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000259	87	土師器	杯	杯片	鮮明	宅代	SK1	201410000318
88	土師器	杯	口縁部	鮮明	不明	SK1	201410000260	88	土師器	杯	杯片	鮮明			

報 告 書 抄 録

ふりがな	なんくんにしいせき だい8じはつくつちようきほうこく
書 名	南蕨西遺跡 一第8次発掘調査報告一
シリーズ名	久留米市文化財調査報告書
シリーズ番号	第361集
編著者名	小川原 励 (編)・米澤美詠子
編集機関	久留米市 市民文化財 文化財保護課
所 在 地	〒830-8520 福岡県久留米市城南町15番地3 Tel 0942-30-9225 FAX 0942-30-9714 E-mail: bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp
発行年月日	2015 (平成 27) 年 9 月 30 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
なんくんにしいせき 南蕨西遺跡 だい8じはつくつち 第8次調査	くろまへ 久留米市 南蕨西町 1938-1	40203	—	33 ° 31 ' 33 "	130 ° 52 ' 33 "	20140918 ～20141031	190 m ²	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構		主な遺物		特 記 事 項	
南蕨西遺跡 第8次調査	集落	奈良 平安	掘立柱建物 溝 土坑		土師器、須恵器、瓦、 緑釉陶器、輸入陶磁器、 鉄製品、石製品		9世紀後半の土坑か ら墨書土器が116点 出土した。	
要 約								
調査地は南蕨西遺跡の南部に位置し、標高14m前後を測る。検出した主な遺構は、奈良・平安時代を中心として掘立柱建物4棟、溝1条、土坑2基であった。バンコンテナ18箱程度の遺物が出土した。9世紀後半の2基の土坑から多量の遺物が出土したが、その中で「宅代」と書かれた資料を中心として116点の墨書土器が出土している。また桁行5間以上の掘立柱建物が2棟検出されており、本遺跡が御井郡原原郷の中心部となる可能性がある。								
土木工事の届出日		平成26年7月23日			遺物の発見通知日		平成26年11月6日 (26文財第919号)	

南蕨西遺跡

一第8次発掘調査報告一

久留米市文化財調査報告書 第361集

平成27年9月30日

発 行 久留米市教育委員会

編 集 久留米市市民文化財文化財保護課

印 刷 服部印刷株式会社

久留米市梅満町410-1